

# TTC ゆった〜り山行実施記録表

2022 年 12 月 08 日 YM

山行名	鎌倉天園・獅子舞谷・鎌倉幕府旧跡ハイキング [大平山 159m/神奈川県]			
実施日	令和 4 年 12 月 07 日(水) 日帰 公共交通機関利用/現地集合・現地解散			
天候/参加人員	天候: 終日晴れ、レベル: ★☆ 参加者: 申込 18 名/実施 19 名 (男 5 名/女 14 名)			
パーティスタッフ	省略			
参加メンバ	省略			
費用(交通費) 一人: 1,540 円	約 1,540 円 (本厚木駅起点/各自交通系 IC カード払い) 往路: 本厚木・横浜・北鎌倉)¥748、 帰路: 鎌倉・横浜・本厚木)¥786			
歩行/行動時間	歩行時間	休憩時間(含見学)	行動時間*	*集合場所〜解散場所 歩行数: ~22,000 歩
ガイトブック	—	—	—	
計画	3:30	3:35	7:05	
実行	3:42	2:41	6:23	
実行コースタイム記録				
集合 9:05/体操	0:36	0:10	0:18	0:13 (見学) 0:43 (昼食・トイレ) 0:10
JR 横須賀線北鎌倉駅	今泉台 4 丁目登山口	勝上献	弘法大師像	百八やぐら
9:05-9:18	9:54	10:04/10:14	10:32	10:45/10:54 11:37/12:20
	0:45	0:10	0:08	(鎌倉幕府旧跡巡り) 0:19
天園(瑞泉寺分岐)	永福寺跡	鎌倉宮	荏柄天神社	頼朝墓・義時法華堂跡・三浦やぐら・大江・毛利・島津墓
12:30	13:15/13:30	13:40/13:55	14:05/14:12	14:20 -----14:50
休憩後参拝/解散 (0:32)				
鶴岡八幡宮	JR 鎌倉駅			
15:09/15:28	16:00			
コースの概要、特記事項、反省事項等				
<p>厚木ゆかりの毛利家開祖「毛利季光」や島津家開祖「島津忠久」のお墓を訪ねる企画か、あるいは、現在放映中の NHK ドラマ「鎌倉殿の 13 人」の人気のためか、平日催行にも関わらず、これまでのゆった〜り山行で最大の 19 名の参加を得ての実施。鎌倉アルプスは TTC 主催山行として何度も実施されてきたが、今回は、①登山口を拝観料 500 円が必要な建長寺から、無料の今泉台 4 丁目に変更する。②コース途中の鎌倉期の遺跡「百八やぐら」に立ち寄る。③いつもスルーしてしまっている鎌倉幕府の旧跡：永福寺跡、鎌倉宮、荏柄天神社、源頼朝墓、義時法華堂跡、三浦一族のやぐら、厚木ゆかりの大江広元・毛利季光・島津忠久墓等を訪ねることを催行目的とした。実施に当たり CL, SL + α のシニアマップで現地調査をして万全を期した。</p> <p>初冬の朝、JR 北鎌倉駅前に 19 名が現地集合。明月院通りから、急坂を登って今泉台の住宅地に入り「今泉台四丁目登山口」の標識から鎌倉アルプス登山道に入った。建長寺登山口ルートと合流する勝上献で、あとから登ってきた 50 人の団体から、道を譲れと、半ば強引な申し出を受けて苦々しく思いながらも、心広い TTC は、快く道を譲った。</p> <p>凝灰質泥岩や同砂岩から成る登山道は、意外と難路で、ぬかるんで滑りやすく、転ばないように、ストックを使い、ゆっくり慎重に歩みを進めた。鎌倉期最大の墓地「百八やぐら」の遺跡は、覚園寺へ下る分岐から、少し下った尾根南面の岩壁にかなり朽ち果てた状態で存在。土地の狭い鎌倉では、武士の遺体を、火葬にして横穴に埋葬した墓地跡で、百八やぐらは、横穴が 200 近くある鎌倉最大級の墓地跡。五輪塔や風化した石仏が横穴内に散乱している様子を見学。昼食は、大平山鎌倉市最高地点のピク先の、砂岩の陽あたりの良い広場でゆっくりと頂いた(気温 10℃)。</p> <p>天園から伊弉とモジの紅葉の名所として知られる獅子舞谷へは、急な泥道を 15 分ほど下った深い森の中にある。このところの寒波で、伊弉の黄葉は、半ば落葉し、モジの葉先が枯れ始めており、残念ながら見頃はすでに過ぎていた。</p> <p>頼朝が、義経と藤原一族の供養のため建立したとされる、池と三堂を配置した永福寺の発掘跡で一休み。TTC25 周年記念の幟を掲げて集合写真を撮った。次に訪ねた鎌倉宮は、鎌倉幕府打倒の魁となった護良親王を祀った神社で、捕らえられて幽閉されていた土牢が残されている。荏柄天神社は、頼朝が大宰府天満宮から勧進して、篤い信仰をしたという日本三大天神社の一つ。その先、頼朝を祀った白旗神社の石段上の高台に頼朝墓と法華堂跡を参拝。右側の石段を登ると北条義時の法華堂跡の広場があり、その先の崖際に、1247 年の宝治合戦に敗れて、法華堂前で自害して果てた三浦一族 500 人(200 数十人の説あり)の三浦やぐらがある。三浦一族と共に毛利季光一族もこの地で自害して果てた。さらに、100 段近い石段を登った先に、左から、毛利季光とその父、大江広元、丹後局を母とする島津忠久の墓を参拝し、本日の主要な目的地訪問を終了した。この後、鶴岡八幡宮を参拝。ここで、解散とし、以後は三々五々鎌倉駅に向かった。22,000 歩余歩いて、地元ゆかりの偉人を含め、鎌倉の歴史を多く学んだ、充実の一日であった。</p>				